連盟ニュース 神奈川　３月

No.506

「白馬岳に向かう雪原」（**カモの会／銀嶺会**　谷内真由美）

３月になって急に暖かくなりました。谷筋は底雪崩が始まります。新緑を待ち焦がれる気持ちの一方、裏腹に雪壁・氷壁登山の終わりを惜しむ心、、、、、、

季節も自分の年齢も進むのは必然！次の課題が待っていますよ。

今月号は、登山文化講座、ネパール事情、広沢寺清掃報告など

「事故一報」の送付先をお知らせします。

＊「事故一報」の全国・県連へ迅速な連絡＊

全国窓口：労山基金制度運営委員会メール kikin@jwaf.jp/FAX03-3235-4324

県連窓口：遭難対策部メール及び基金申請書は、ホームページの連盟員のページから

神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0045　横浜市神奈川区神奈川２－１４－６　トーリクビル３階

http：//www.k-rouzan.net/

発行責任者　早川尚武

発行年月日　２０２３年３月１５日

３月号（Ｎｏ．５０６）　目　次

浦添労山会長「戦争と軍備拡大」（新聞記事）　２
登山と山岳文化の教養講座（募集）　４
ネパールでの緊急事態（病気・事故）の対応について　６
クリーンハイク実行委員会・自然保護委員会報告　１０
常任理事会議事録　１１
第２３回広沢寺清掃山行３月５日３年ぶりにが実施されました。（報告）　１２
各会の活動報告　１３
県連のスケジュール　１７

（9）　【スポーツ】　2023年2月25日（土曜日）

スポーツサイト

日本勤労者山岳連盟会長
浦添嘉徳

■戦争と軍備拡大■

登山文化とは相いれない

ロシアのウクライナ侵略戦争は1年たちました。日本勤労者山岳連盟（労山）はこの2月、「平和と自然がとても大切、今こそ山へ」をスローガンに、都内で第35期評議会を開きました。私はあいさつで、平和と登山、山岳自然を守る活動の強化を訴えました。

国民の暮らしは、物価値上げラッシュで大変ですが、政府は5年間で軍事費を43兆円へ大幅に増額し、他国の基地を攻撃できる軍備の増強を計画しています。

わが国の近代登山は、1930年代には国民的なスポーツとして発展していましたが、軍国主義の支配と侵略戦争で登山の正常な発展は阻害されました。世界平和であってこそ登山文化は発展します。そのためには、諸国民との相互理解、友好をさらに強めることです。登山文化の障害となる戦争に反対し、核兵器禁止の運動の強化が必要です。

戦争や各国の軍事行動が膨大な温室効果ガスを排出していることも指摘されています。ウクライナ政府のチームが、ロシアの侵略に関連する温室効果ガスの排出量を算出し、昨年11月のCOP27で発表しました。その量は二酸化炭素換算でおよそ8300万トン、同時期にオランダが排出した約1億トンに匹敵しています。

また、イギリスの科学雑誌ネイチャーは、世界の温暖化ガスの排出量の1～5％は軍事費関連によるものと推定しています。ところが、軍事機密ということから各国の軍事的な温暖化ガスの排出量は、カウントされていません。

温室効果ガスによる地球温暖化によって、ヒマラヤなどの氷河湖の決壊で1500万人が洪水のリスクにさらされています。また、北米の九つの山岳地帯では高山植物が10年間で67㍍高いところに移動、米ニューメキシコ州では10年間に1～2㍍も上昇したという観測結果もあります。

稜線（りょうせん）上に多く分布している日本の高山植物は、温暖化で逃げ場所がなくなり絶滅する恐れがあります。貴重な生態系を守るためにも、温室効果ガスの排出を抑制しなければなりません。

戦争や内戦は最大の環境破壊です。軍事拡大は地球温暖化を進めるものです。労山は昨年3月にロシアの侵略に反対、中止を求める会長談話を発表。日本を代表する山岳4団体（日本山岳・スポーツクライミング協会、日本山岳ガイド協会、労山）も連名で反対声明を出しました。

これからも登山者、山岳団体は、この問題に関心を持ってとりくんでいく必要があります。

２０２３年２月２５日
「しんぶん赤旗より」

【参加者募集】

登山と山岳文化の教養講座

担当　技術教育部・遭難対策部・国際部　理事
早稲田大学国際教養学部　教授　大和田 英子

みなさんは登山をどのように楽しんでいますか?

手当たり次第に登り、次から次へとルートをこなしているだけになっていませんか?

山に登るには筋力と体力だけあれば大丈夫、アプリがあるから早く歩ければそれでいい、歩くのが遅い人と同行するのは嫌だから単独でしか登らない、あるいは逆に、グループでしか登らないから地図とコンパスは使わないし計画も他人任せ、という山行形態に陥ってはいませんか?　どちらにせよ、こうした極端な山行スタイルが遭難につながるケースはとても多くなっています。

体力はあるのに、グループで登山しているのに、なぜ事故が起きるのでしょう？

なかには不可抗力だった、というケースもたくさんあります。しかし、この事故は防げたのではないか、と考えられるケースも多くなっています。それにはさまざまな理由が考えられますが、防げたのではないかと考えさせられる事故を精査していきますと、人間がそもそも持っている「認知の歪み」を補強してしまうため、危険を認識できずに遭難につながる行動をしてしまいがちになる傾向が見てとれます。これには私たち人間の脳の働きが関与しています。

それに加えて、年齢が上がるにつれて、脳の前頭葉という部分が老化し始めるのです。早い人では20代30代であっても衰えが始まるとも言われています。ＩＴ機器、スマホやタブレットを使用するようになり、年代を問わず、脳の機能が目に見えないダメージを受けていると言われています。そして、この前頭葉こそ、人間が情報を整理し行動の判断をおこなう上で重要な役割を果たし、言語機能も司っています。コミュニケーション不足から遭難につながる行動をしてしまう、などの傾向も多くなってきています。

それでは前頭葉の機能低下防止のためには、どのようなことが必要でしょうか。まず、「身体を動かす」ことが効果的であると言われています。さらに「読書」も効果があるのです。「新しいことに挑戦する」というのも大切になります。こうした日常の積み重ねが前頭葉の機能低下を防止し、遭難につながる認知の偏りをただす方向に働いてくれます。このような活動は、私たち山岳会に所属して日頃から登山をしているものにとっては、馴染みの深いものです。ただ、残念ながら、登山と読書を有機的に繋げる試みは、どの山岳会でも不足しているようです。

そこで、この講座では、まず登山や山岳文化に関する古典を読み、その読書体験に基づいて山に登り、さらにその経験をエッセイにまとめる、という三段階構成をとることにしました。四季のある日本の山を楽しむために、季節折々のテーマを見つけ出し、登山に関する教養を深め、立体的に前頭葉を鍛えましょう。

登山を始めた人々は、まず山岳の雄大さに圧倒され感動を覚え、次々と登山をしたい、もっと登ってみたいという衝動に駆られるようになります。若い世代なら身体活動面に重

点をおく傾向も奨励されますが、ある程度の年齢層になれば、次第に視野が広がり、登山のさまざまな楽しみ方を求めるようになります。比較的若い年齢層でもハイキングから入り、登山の楽しみを模索する段階で多角的なアプローチ方法を示すのは有意義だと認識している人たちは多いことでしょう。そんなとき、ステップアップを考える一助とするにあたっても山岳に関する古典の読書経験は良い指針となるでしょう。

この講座では、平日夜の読書会（19:00-21:00 開催）に基づいた連携山行を行い、その経験をエッセイに書き合評会で発表する（平日夜 19:00-21:00 開催）、という三段階のアプローチを春夏秋冬それぞれの季節に継続して展開し、さまざまな角度から登山の楽しみを深めていきます。

費用　労山会員　無料　参加者は平日の読書会・合評会での夕食代を実費負担
非労山会員　参加費 各回 500 円　（読書会と合評会の資料代及び平日の読書会・合評会での夕食代を実費負担　山行は自主的に行うか、企画山行に参加する場合は講師の所属会の判断による）

場所　（読書会・合評会）　全国連盟１Ｆ　会議室

読書会　年齢・読書経験不問、日常的にハイキングや登山を続けている方を対象とする。季節ごとの部分参加　ＯＫ。ただし、人数が多い場合は、基本的に各季３回（読書会・山行・合評会）を通しで参加できる方、四季を通して参加できる方を優先とする。読書会のみの参加はＯＫ。

登山と山岳文化の教養講座　申し込み用紙

★氏　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
★生年月日 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　年齢 ＿＿＿＿＿＿
★労山会員番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
★所属会名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
★所属会会長名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
★住所　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
★連絡先　携帯番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
　　メールアドレス ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

★希望する講座（○をつけてください。通し参加の場合は全部に、季節参加の場合は季節ごとに印をつけてください。）
　春季　読書会・エッセイ合評会
　夏季　読書会・エッセイ合評会
　秋季　読書会・エッセイ合評会
　冬季　読書会・エッセイ合評会

★過去の登山経験や抱負など

暫定スケジュール

4月4日（火）　19:00より　読書会（春）
田部重治『山と渓谷』(岩波文庫)
4月21日(金)　連携企画山行　笠取山
5月9日（火）　19:00より　エッセイ合評会
6月27日(火)　19:00より　読書会(夏)
ウォルター・ウェストン『日本アルプス』(平凡社ライブラリー文庫)
7月未定　連携企画山行　北穂高岳(泊山行)
8月未定　エッセイ合評会
9月26日(火)　19:00より　読書会(秋)
山口燿久『北八ツ彷徨』(平凡社ライブラリー文庫)
10月未定　連携企画山行　北八ツ池めぐり
11月未定　エッセイ合評会
12月19日(火)　19時より　読書会(冬)
辻まこと『辻まことセレクションⅠ 山と森』(平凡社ライブラリー文庫)
1月未定　連携企画山行　雲取山

連携山行

A 連携企画山行
講師の所属会での計画をもとにする山行。他会からの参加希望の場合は別途規定あり。

B 連携自主山行　読書会の内容に基づいて、会員の所属会で自主的に山行を組む。行き先、日程は自由に設定できる。

エッセイ執筆・公評会　連携山行についての経験についてのエッセイ執筆を行う。山行後２週間を目処に講師に提出。長さ、フォーマット自由だがWordファイル使用のこと。

申し込み　日本勤労者山岳連盟　全国連盟　技術教育部にメールで申し込み用紙に必要事項を記入して送付する。参加予定が見通せない場合は季節ごとの申し込みでＯＫ。

送付先　jwaf@jwaf.jp

締め切り　通し参加及び春季　3月28日
夏季　6月20日
秋季　9月19日
冬季　12月12日

ネパールでの緊急事態（病気・事故）の対応について

神奈川勤労者山岳連盟のM＆Ｃの会員並びに連盟救助隊隊員の久保です。

私は６５歳で仕事を引退してからは、高山を登る事をライフワークとして、コロナ禍前までは海外の高山に行っていました。そして昨年の秋、２年振りに１０～１２月にかけての２ヵ月間ヒマラヤに行きました。しかし、不覚にも標高５５００ｍのバルンツェＢＣにて風邪をひき、何とか治そうとしましたが、体調が回復せず救援ヘリによりカトマンドゥの病院に搬送されました。この経験を基に今迄何回か遭遇した緊急ヘリによる救援と事故現場での経験を皆様にお伝えしたいと思い下記の通り取り纏めました。４月からヒマラヤのシーズンも始まりますが、これが皆様のお役に立てれば幸いです。

バルンツェ BC に飛来した小生を救援に来たヘリコプター

１．海外登山の概略

（１）海外登山は学生の時の１回を含めて１１回行っています。退職前に２回（学生の時と６４歳）、退職後（６５歳、２０１６年以降）に９回になります。

（２）インドのパンジャブヒマラヤ１回、南米のペルー・アンデス１回、あとの９回はネパール・ヒマラヤになります。

（３）内、緊急事態に遭遇したのは６回になります。内容は下表のとおりです。

		年	救援ヘリ要請	病気	遭難・天災
①	マカルー(8485m)登山	16年	○		○(地震)
②	ダウラギリ(8167m)登山	18年	×		○(遭難)
③	エベレスト(8848m)登山	19年	×		○(遭難)
④	トレッキング(エベレスト街道)	19年	○	○	
⑤	バルンツェ(7129m)登山	22年	○	○	
⑥	トレッキング(エベレスト街道)	22年	○	○	

・①⑤は私が直接かかわったものです。つまり緊急ヘリで搬送されました。

・②③は同じ登山隊では無いが、行動を共にした、或いは遭難現場に立ち会ったケースです。

・④⑥はガイドで引率していたパーティーの参加者が病気に罹ったものです。

６回の内、基金の利用は⑤の１回です。後は保険会社の登山・トレッキング保険で対応しました。

（４）さて、１１回の海外登山で６回の緊急事態遭遇が多いか、少ないかは判断の判れる所ですが、一つの傾向があります。トレッキングはいずれも高山病、風邪等の病気に罹り、救援ヘリで搬送されるケースです。⑤のバルンツェ登山もトレッキングをしてＢＣに着いた日に風邪を引きましたから、登山というより、トレッキングに分類した方が良いかもしれません。

残りの①②③は８０００ｍを越える高峰です。マカルー登山はネパール大地震（犠牲者は１万人を越えました）により、マカルー隣のエベレストではシェルパ１６人が地震の為起こった雪崩により死亡しました。この為、ラジオを通じてネパール政府よりすべての登山隊に対して下山勧告が出され、それに従い下山しました。又、ネパール政府も優先的に救援ヘリを差し向けてくれました。②と③は死亡した遭難事例です。

２．緊急事態（病気等）への対応

（１）救援ヘリを要請するのは、高山病、風邪等に起因しての体調悪化が大半を占めている。トレッキングでも登山でも体調不良は起こりうるが、登山では救援ヘリは呼びたくても呼べないケースが多い。ヘリコプターが着陸出来るのは６０００ｍまでである。①のマカルーは６０００ｍを越えていたが、よほど腕の良いパイロットだったのだろう。パイロットはイギリス人だった。それと地形・・・着陸できる場所があるか、雪崩の恐れは無いか等である。

（２）通常のトレッキング・コースなら通信手段があれば問題なく救援ヘリを要請できる。エベレスト街道の場合を例に具体的に説明します。

①救援へり要請方法

・トレッキング・パーティーのガイド(いわゆるシェルパ、ガイドの代名詞である)が手配してくれる。連絡が付けば要請した時間によるが、救援ヘリは１日以内に来る。

・救援ヘリが来れば、ピックアップされて、エベレスト街道の場合は飛行場のあるルクラで燃料補給をしてカトマンドゥのトリバンダム国際空港に降り、迎えの救急車に乗り外人専用の高級病院に運ばれる。

②料金

・料金はカトマンドゥまで４０００～４５００ドル程度。料金の違いは街道始点のルクラまでの距離と、その場所に飛んでいるヘリの頻度による。エベレスト街道の上空は常時ヘリが飛んでいるから安目、今回私がヘリを要請したバルンツェＢＣは滅多に飛ばないので高目となる。４５００ドルだった。

・カトマンドゥの病院は１泊１０００ドルである。ビックリするが、この値段である、今のレートで１泊１３～１４万円。２泊して２０００ドルを越えたが、高いと文句をいったら１００ドルまけた。

・この救援システムは確立していて、変更は難しい。大地震で下山した際も、この病院だった。

・保険（労山会員は基金）に入っていればよいが、入っていないと６７００ドル、現在のレートで９０万円を越える負担となる

・治療を終えて、登山を再開すべくルクラに戻った時に、ロッジで旧知のシェルパに会ったが、彼のお客さんがメラ・ピークで風邪をひき、救援ヘリでルクラに降りてきて、カトマンドゥ行きヘリを待っていた。この人は保険に入っていなかった。ヘリについては利用済だったが、病院代について説明してあげた。後日、このシェルパとカトマンドゥで会った際に病院の話を聞いたが､ネパール人向けの病院に行ったとの事だった。高級病院も保険無しの人には支払いリスクありと見て、他の病院に回したのだろう。現金なものである。

③注意事項

・風邪は万病の元というが、高所登山においては特にそうである。まずは風邪を引かない事。寝る時は、頭の保温が重要。残念ながら風邪を引いてしまったら、下に降りる事である。エベレスト登山の時も風邪を引いたが、ＢＣから２日で標高４０００ｍを下回った所まで降りて治った。

・バルンツェＢＣは行くのが非常に困難な場所であり、６０００ｍ級の峠３か所のいずれかを通らなければ行けない。下るのも同様であり、自力で標高の低い所に行くのは諦めて、救援ヘリを要請した。自分としては飛行場のあるルクラには立派な病院もあるので、シェルパにここまでのヘリを手配するように頼んだ。ここまでならヘリ代金も数百ドルである。しかし、ヘリ会社からの返事は「保険を使うのなら、カトマンドゥに行く必要がある」であった。変な話だなと思ったが、今まで過去２回ではカトマンドゥまで行っていたので、そんなものかと了承した。

・しかし、下山した後に確認したことだが労山基金ではルクラまででも大丈夫であった。勿論、登山どころではない・・・重い症状の人はカトマンドゥに降りた方が良い。しかし、慣れた人で戻ってくるつもりなら、わざわざカトマンドゥの高級病院に行く必要はない。私は、戻って来るのにヘリ代で１２００ドル（１６万円を）支払った。ルクラからなら２－３００ドルである。尚、カトマンドゥからの帰りのヘリ代が安いのは乗り合いで４－５人乗るからである。

・何故、カトマンドゥまで行かなければ保険が下りないと言われるのか・・これは推測だが、エベレスト街道

には世界中から中古ヘリが集まっていて、悪徳ヘリ業者が疲れたトレッカーをヘリで空港のあるルクラまで運び、病気でもないのに、保険請求するのが数年前まで横行した。そして、ヘリには仲間も載せているので、要するにラクチン下山用ヘリである。

・これの防止の為、ルクラ行の近距離フライトは保険の対象外としたのかもしれない。④のケースでは体調不良で救援ヘリを要請したが、後日の保険請求の為、そのヘリコプターの当日の運航日誌の写しを添付した。つまり、要救助者１名しか乗っていない事を証明する為。⑥のケースでは同様体調不良で救援ヘリを要請し駆逐されたのか、運航日誌の添付は求められなかった。

④支払い方法

・多額の現金を持ち歩く人はいないのでカードは払いとなる。この辺りはシステマチックに運用されており、入院した Swacon International Hospital　は５階が保険処理センターになっていて、手慣れた職員が保険処理に必要な書類(診断書、病院の担当部門、電話、メール連絡先等)を全て用意してくれるので、費用等納得すればサインをしてカードで支払う。

　しかし､異国の地で大半の日本人は英語が不得意であり黙ってサインするのみである｡言葉が不自由せず、はっきりと高いという欧米人は安く、日本人は高く請求する傾向があるとの話は聞く。私は高いとクレームを付けたら１００ドル負けてくれた。大した金額ではないが一言言ってみるべきではあるが、保険払いとなると余り気にはしないのかもしれない。

　ヘリコプター会社も料金、支払い手続きは同様である。あとは帰国後必要書類を保険会社に提出すると大体１ヵ月位でカードで支払った代金が振り込まれる。

・ここで注意しなければいけないのは、カードの支払い上限である。カードは持ち主が犯罪者に悪用された際に、被害額を抑えるために月当たり、或いは１回当たりの支払いに上限を設けている。今回、私は６７００ドルが支払いであったが、上限を越えてしまうので、病院代だけカードで支払い、ヘリ代はトレッキング会社の保証で帰国後に支払う事にした。

　カードの支払い上限額については注意が必要である。上限に達したものの、現金も持ち合わせが無く、仲間のカードで決済したケースもありました。

・次に労山基金の場合は帰国してから、加入している国民健康保険等に海外療養費で、先ず申請して、支給を受けた後の残額を基金に申請する。

・ただし、国民保険等の支払いはあくまでも日本の治療金額基準に基づいており、高額な部屋代、ベッド代などは支給されないので注意が必要です。それと病院で発行した診断書等は英文等外国語なので、添付書類を提出する時には日本語訳を求められる。残念ながら、外国語は不得意な人が多いので、提出窓口に先ず相談する事が良い。

　病気等による救援ヘリの要請について纏めてみました。これはエベレスト街道、言わば日本では銀座通りに当たる所です。同じレベルにあるのはアンナプルナ内院コースと同サーキット、マナスル近辺だと思います。あまり人が訪れない場所は、ｗｉｆｉ、電話等の通信手段が無くなるので直ぐに救援ヘリが呼べるわけではありません。行く場所の情報にはご注意下さい。地球の最果ての地で、あなたを守るのは自分自身しかありません。

３．緊急事態（事故等）への対応

（１）事故に遭遇したのは②ダウラギリ登山と③エベレスト登山の２回です。いずれも標高７０００ｍを越え、救助しようにもできない状況でした。６０００ｍを越えるとヘリコプターは着陸出来ないし、日本の様に山岳救助隊が来てくれる訳ではありません。　全て自己責任です。動けなくなった所がその人の墓場になるのです。

①ダウラギリ登山

・ダウラギリはネパール・ヒマラヤの中でも強風が吹き荒れる山です。チベット高原に通じるムスタンから吹きおろし、吹上の風の通り道です。登山は難航しました。一旦設営したＣ１、Ｃ２が積雪で破壊されたり、又積雪の為にフィックスロープが埋まってしまい、再度張り直しを強いられたり。なんとか、頂上攻撃まで持ち込み、本来はＣ４が最終キャンプですが、設営する余裕もなく、Ｃ３（７４００ｍ）より頂上を攻撃する事にしました。

カトマンドゥのトリバンダム空港のヘリ駐機場に小生を収容しに来た救急車

しかし、夜中に出発準備をしていましたが、風が止まず断念しました。ここまで一緒に登って来たインド空軍隊は攻撃すると出かけて行きました。健闘を祈って別れ、私はその日の内にＢＣまで下りましたが、隣のインド空軍隊のＢＣからは夜中、攻撃隊に呼びかける音が響いていました。翌日はフレンチパスを通過して下山する事に決めていたので、下りましたが、未だ高所にいるだろう空軍隊の無事を祈りながらダウラギリに別れを告げました。

②エベレスト登山

・ＢＣ入りしてから４０日が過ぎ、いよいよ頂上攻撃の最終局面。夜中の１２時にＣ３を出て、サウスコルのＣ４に数時間滞在して頂上にいく予定でした。Ｃ３を出て３０ｍ程の氷壁を越えるとクライマーが一人倒れていた。異常なのは直ぐに判った。両手とも手袋をしていないし、既に両手は凍傷と一目でわかった。何度か頬を叩くが、反応はない。ただ、未だ死んではいない。すぐ下のＣ３に下ろしてテントに収容しようとしたが、意識の無い人間を７０００ｍの高度で降ろすのは不可能だった。何人かのシェルパが我々の脇を何事も無いように通り過ぎていく。我々も断念して、元の場所に戻した。

登頂を果たし、３日後に通過した時には下のテントに収容されていたが、足は外に出たままだった。彼は、ロシア人で単独の登山者だった。エベレストの単独登山は禁止されているが、彼は公募隊のセブンサミットのメンバーになり、入山後は一人で行動していたとの事。ラインホルト・メスナー並みの体力と技術が有れば・・と思うが、そして２日後に日本人の栗城君が死んだ。挑戦するのは若者の特権かもしれない、しかし君死に給う事なかれ。

労山会員は、基金を利用する場合は遭難等が発生した時点で速やかに、先ず事故一報を報告しなければなりません。救援ヘリでカトマンドゥの病院について一番に最初にやったことは所属するM&Ｃの基金担当者に連絡を取り、電話で状況を説明して、事故報告の代筆をお願いして提出して貰いました。通信手段があればこそでしたが、いずれにしても連絡が出来る場所に来れば速やかに事故一報を行う必要があります。

以上、ネパール・ヒマラヤを例として取り纏めましたが、支払い方法、帰国してからの手続きはどこの山を登ろうと同じと思います。最初に申し述べましたが、これが皆様の海外登山の参考になれば、幸いです。

２０２３年２月　クリーンハイク実行委委員会・自然保護委員会報告

日時：２月２７日(月)１９時～２０時

出席者（敬称略）：

＜対面での参加＞渡辺（相模ＡＣ）、関根、和田（みずなら山の会）、萩原（藤沢山の会）、磯部、伊藤、北野（地平線の会）、中村（やま++）、

＜対面とリモートでの参加＞、高橋（藤沢山の会）、小柳（川崎ハイキングクラブ）

◆自然保護委員会の準備打ち合わせ結果報告

クリーンハイク実行委員会の事前に行われた自然保護委員会での協議結果１)、２）をクリーンハイク実行委員に報告した。

１）２３年度クリーンハイクの役員選出

・自然保護委員会での協議は、クリーンハイクの役員は前年度と同じで良いのではとの結論に達したことを報告。＜添付参照＞

・クリーンハイク実行委員からの異議なく、昨年と同じで決定。

・関根委員長より「クリーンハイクの当日、早川理事長から開会のあいさつを行ってもらえることになった」との報告があった。

２）一般参加の募集を行うか？

・昨年度一般参加は行わなかったが、コロナも落ち着き、今年度は一般参加の募集を行う方向で検討しては？行うとすれば、担当が必要ではないか？

・協議の末、今年度は一般参加の募集を行うことになった。スポーツ店や大倉バス停のＹＡＭＡ ＣＡＦＥの横などにちらしを置く。新スポやウォーキングクラブ、神奈川大学などに募集をかけるなど。一般募集担当は、（正）萩原、（副）中村とする。

・保険

ボランティア保険とする。それ以上の保険は各自で入ってもらう。

・山の会のサポート

一般参加者は希望場所で清掃活動をする山の会に面倒をみてもらう。

・のぼり・小旗

小旗は約７０枚、のぼりの旗は約２０枚あるので追加は必要なし。のぼり用のポールが老朽化しており、新規に１０本程度手配必要。

・今後詳細をつめていくことにした。

３）登山道整備について

・神奈川県の担当部署である自然保全センターと「今年度は登山道整備ができるかどうか？」調整中。

・これまで三ノ塔周辺で石運びを実施していた箇所は既に工事が完了し、石が必要無くなっており、それ以外に石運びが必要なところがあるか調査を行って３月に連絡するとのこと。

・自然保全センターの回答を待って、今年度のクリーンハイクで登山道整備を行うかどうか？を決定する。

――（ここからクリーンハイク委員会で協議）――

４）水質調査について

・和田委員より、昨年度調査を行った源次郎沢で落石の事故ありとの報告。ツメでの調査は危険を伴うので、今後はやりたくない、との会の意向。ＡＰ横浜からも「今後は沢のツメの調査は危険でやりたくない。」との会の意向があることが報告された。

・クリーンハイクに参加している会のメンバーの老齢化、及び沢登りの技術不足により、沢での水質調査が難しくなっている。また、沢の技術を持っているアルパイン系の山の会はクリーンハイクへの参加に消極的で、水質調査のサポートが得られないのも大きな問題である。

・これに伴い、今後の水質調査は“沢”を除いた地域での調査のみに限定する方向で検討することになった。本件は継続協議。

◆その他

・次回の自然保護委員会は３月２７日（月曜）１９時～２０時

自然保護委員　中村 潤一

常任理事会議事録（Ｚｏｏｍ）

日　時：３月５日（日）２０：００～２１：５０

出席者：早川・渡辺・植田・関根・丸山・岩田　入木田（事務局）

〇予算案について

３８期専門部収支報告　３８期収支報告・決算書第３８期会計内訳　第３９期専門部予算　第３９期上期収支予算書

・案として承認

・来期総会の会場費を追加計上する。

〇Ⅲ号議案について

教育部長退任に伴う今後の教育部について議論をする。

・教育部長退任にともない、早川理事長の預かりとし、暫くの間は教育部長を代行する。

・教育部長退任について教育部内、協議会での議論はした。今後の方針や部長の後任について結論は出ていない。

・今後の教育部の在り方、運営については理事会での討議案件である。

・山岳講習協議会の運営は、今後も教育部所管により対応する。

・山岳講習協議会には、各会の教育担当者に参加してもらっている。今後改めて各会に参加を呼び掛ける。

・県連としては、安全登山の普及、教育が第一目標である。その中で、教育部は登山技術の向上を図る事を目的としている。対して救助隊は、遭難防止、事故対策を講習会等の目的としている。講習会に対する教育部と救助隊の方針は方向性が違う。

〇その他

・神野副理事長兼教育部長に、第３８期下期定期理事会において退任に関する説明をしても　らう。

・議案書原稿の完成を急ぐ。

・８日（水）、新スポ連事務所で印刷。

次回の常任理事会は４／２（日）２０：００～　Ｚｏｏｍにて開催予定。

（相模アルパインクラブ　早川尚武）

第２３回**広沢寺清掃山行**３月５日３年ぶりにが実施されました。（**報告**）

参加された皆さんお疲れ様でした。県労山から渡辺会長があいさつされました。

協力団体：神奈川県山岳連盟、東京都山岳連盟、藤沢市山岳スポーツクライミング協会、厚木市山岳連盟、相模原市山岳連盟、日本登山インストラクターズ協会、㈱ハイマウント、ボルダリングジム LAMP、地元代表七沢観光協会、神奈川県勤労者山岳連盟

後藤さんの FaceBook から転載させていただきました。

後藤 真一
5日 ·

広沢寺の岩場を守る会　第２３回清掃集会は公には４年振りの開催とブランクあるにも関わらず、１２０名（過去最高！）もの参加者にご協力いただき、無事に終了させていただきました。

2000年に岩場の地主様からクライマーのマナーの悪さ（迷惑駐車、ゴミ、用便、焚火などなど）によって「立入禁止！」と言われるようになり、有志が集まって2001年1月から始まった清掃活動。地道に地主様との交渉を続け、地元の里山活動に協力するなどして、今や地域や行政との関係も良好に維持し続けて「どんどん使って」と言われるほどになりました。
不断のこの活動があるからこそ、私たちも岩場でクライミングができます。
岩場を守る会幹事もこの活動を次の世代に繋いでいくため、新しい有志を募っています。年に半日だけの活動ですが、関心のある方はご連絡くださいませ。

３年分？ゴミ

新聞で紹介されました

集会の後で　ワイドクラック 5.9

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告　2023年　2月

活動報告送り先：　jim001rouzan.kanagawa@k-rouzan.net

沢：沢、講習会：講	人数	形態	H:ハイキング、A一般登山、S雪山	人数	形態	SKI山スキー、R岩、氷 ｱｲｽｸﾗｲﾐﾝｸﾞ	人数	形態
川崎ハイキングクラブ　機関紙「りんどう」			http://kawasaki-hc.life.coocan.jp/					
報告：守口尚美　計90名（男43　女47　）　平均年齢68.歳								
1/21　縞枯山／北八ヶ岳	3	S	1/28　日連アルプス／藤野	3	A	2/5　北横岳／北八ヶ岳	3	S
1/21　弘法山／丹沢	7	A	1/28　塔ノ岳／丹沢	1	A	2/11　塔ノ岳／丹沢	1	A
1/21　表尾根／丹沢	5	A	1/29　鷹取山・弘法山／丹沢	4	A	2/12　セルフレスキュー座学	13	
1/22　浅間尾根／奥多摩	11	A	1/29　黒斑山／長野	1	S	2/15　多摩川河口ウォーク	14	H
1/26　室内例会	30		2/5　要害山／上野原	30	A			
川崎勤労者山岳会　機関誌：「あざみ」　http://sangakukai.wix.com/kawasakirouzan								
報告：田中良子　計18名（男12女6）　平均年齢56.0歳								
2/2榛名山	1	H	倉岳山-鳥屋山	3	H	2/23東谷山～日白山	2	S
2/4丹沢　弁天岩	3	R	2/12大野山～高松山	1	H	2/23-24入笠山	2	S
2/4鶴島御前山-栃穴御前山-四方津御前山	2	H	2/18赤城山	2	S	2/26-27妙高	3	SKI
2/4-5北八ヶ岳周遊	3	S	2/18黒斑山	3	S	2/25-26八ヶ岳周回	1	S
2/4-6妙高	2	SKI	2/18奥武蔵 子ノ山-吉田山-御岳山	3	H	2/25-26日光白根山	4	S
2/9赤城山	1	S	2/19日の出山	3	H	2/25ハンターマウンテン塩原	1	SKI
2/12赤岳主稜	2	R	2/19明星ヶ岳―鷹巣山	1	H			
銀嶺会(https://ginreikai101.wixsite.com/ginrei)								
報告：　計5名（男0　女5　）　平均年齢								
1/27-29 IWCスイス戦	1	R	2/4 谷川一ノ倉衝立岩中央稜	1+1	R	2/18 天王岩	1+1	R
1/28 アイス講習	1+他	R	2/11-13 能取岬アイス	1+3	R	2/23 谷川一ノ沢左方ルンゼ	1+1	R
2/4-5 二口渓谷	1+3	R	2/11-12 城ケ崎	1+3	R	2/25-26 五竜岳（敗退）	2+1	S
2/4-5 瑞浪	1+3	R	2/11 三つ峠四十八滝沢アイス	1+2	R	2/25 岐阜平湯四つ岳BC	1+3	S
2/4北海道山スキー	1+2	S	2/12 尾白川下流域アイス	1+2	R	2/25 青葉	1+4	R
山岳会　カモの会			http://www.kamonokai.com/hp/index.html					
報告:カモの会事務局　計57名　（男34　女23　）　平均年齢42.6歳								
02/03 御前岩	2+1	R	02/11 白馬スキーツアー	1+1	SKI	02/18 赤岳真教寺尾根	5	S
02/04 唐松岳	6	S	02/11 鷲頭	1+1	R	02/23 谷川岳 一ノ倉沢一ノ沢左方ルンゼ	1+1	氷
02/04 和気アルプス	2	A	02/11 赤岳主稜、阿弥陀岳北稜おさらい	2	R	02/23 城山ワイルドボア	2+1	R
02/04 谷川岳 一ノ倉沢衝立岩中央稜＆偵察	1+1	R	02/11 城山	1+8	R	02/23 幽ノ沢 中央壁	1+1	R
02/04 湯河原	1+1	R	02/11 平標山	6	S	02/23 北陸スキーツアー	1+7	SKI
02/04 城山	2	R	02/11 能取岬アイスクライミング	1+2	氷	02/23 城山	4	R
02/04 東谷山	2	SKI	02/12 上州武尊山	1+5	S	02/23 阿能川岳-俎?-茂倉岳	2	S
02/04 三つ峠(金ヶ窪沢、四十八滝沢)	2	氷	02/12 湯河原幕岩	2	R	02/23 湯河原幕岩	1+1	R
02/04 湯河原幕岩	1+1	R	02/15 荒船山　相沢奥壁	1+2	氷	02/23 焼岳	4	S
02/04 湯河原・幕岩	3	R	02/16 湯河原幕岩	3+1	R	02/23 天城山	1+1	H
02/05 油樽の滝	2	氷	02/17 アドバンストセーフティーキャンプ	1	S	02/24 城ヶ崎	2	R
02/05 豊田	1	R	02/18 白毛門	1+2	S	02/24 御岳	1	R
02/05 湯河原幕岩	1+1	R	02/18 御在所岳 藤内壁	1+2	氷	02/25 青葉の岩場	4	R
02/05 城山	1+1	R	02/18 神津牧場　相沢	2+7	氷	02/25 日立アルプス	1+1	H

02/07 有明山	1+2	S	02/18 城山ワイルドボア	4+1	R	02/25 青葉の岩場	1+2	R
02/08 湯河原・幕岩	1+1	R	02/18 奥日光スノーハイク	1+4	H	02/25 谷川岳雪上訓練	2	S
02/11 三田原山・鍋倉山・前山	1+4	SKI	02/18 瑞牆山と金峰山	2	S	02/25 城山	2+1	R
02/11 蔵王山	1+2	S	02/18 城山南壁	2+1	R			
02/11 城山ワイルドボア周辺	5+1	R	02/18 赤岳-県界尾根	2	S			
やま++　http://yamaplapla.sakura.ne.jp								
報告：計17 名（男10女7 ）　平均年齢61.4歳(23/2/28現在)								
２／５　丹沢 鍋割山マイナー	4	A	２／７　丹沢　塔ノ岳	3	H	２／１１－１２　浅間山スノーシュー	5/1	H
２／１４　丹沢　畦ヶ丸	3	H	２／１８　上州武尊	5	S	２／１６　入笠山スノーシュー	1/1	H
２／１９　小鹿野アルプス	1/1	A	２／２６－２７　シラビソ小屋	4	S	２／２８　金時山	3	H
M&C（マウンテニアリングアンドクライミング）　http://mandc.moo.jp/								
報告：　計27名（男20　女7　）　平均年齢51.2歳								
2/2～2/5 八ヶ岳（夏沢鉱泉、南沢大滝、ジョウゴ沢、中山尾根or大同心大滝）	1+5	氷	2/11～2/12 二子山	2	R	2/18～2/19 神津牧場、相沢氷柱	2+7	氷
2/2～2/2 城ヶ崎	1+2	R	2/11 城ヶ崎	1+1	R	2/20 手稲ネオパラ	1+1	S
2/3～2/3 城ヶ崎 シーサイド	1	R	2/12 日白山	2	S	2/23～2/23 韓国岳	1	H
2/3 栂池スキー場	1	S	2/12 八方尾根（ガラガラ沢）	1+4	S	2/25～2/25 開聞岳	1	H
2/4 甲斐駒ヶ岳	1	S	2/12 中央アルプス（大田切川、野猿の岩場D沢）	1	氷	2/21 二子山	2	R
2/4 谷川岳（一ノ倉沢衝立岩中央稜）	1+1	R	2/12 城山	1+2	R	2/23～2/24 南アルプス（尾勝谷・塩沢左俣F2）	2	氷
2/4～2/5 西上州（攀船記ほか）	1+1	R	2/12 城山	1+1	R	2/23 谷川岳（一ノ沢左方ルンゼ）	1+1	氷
2/4 蒲原山	1+1	S	2/16 前山、赤倉観光リゾートスキー場	1	S	2/23 真那板山	1+1	S
2/4～2/5 二子山	2	R	2/16 八ヶ岳（美濃戸口河原奥、角木場）	1+1	氷	2/23 城山	1+1	R
2/5 阿寺山	2	S	2/16～2/16 二子山	2	R	2/23 鷹取山	1+1	R
2/5 八ヶ岳（南沢大滝）	2	氷	2/18 湯河原幕岩	2	R	2/23 下仁田ボルダー	1+1	R
2/5～2/5 城ヶ崎（シーサイド）	2+1	R	2/18～2/19 上州、神津牧場、相沢大氷柱	2+8	氷	2/23 八方スキー場	1+1	S
2/5 四ッ岳	1+4	S	2/18 中央アルプス（小野川、奇美世の滝）	1	S	2/24 黒姫山	1+1	S
2/5 大渚山	1+1	S	2/17 佐渡山	1	S	2/26～2/26 錫杖岳（前衛壁周辺）	1+1	R
2/5 武尊山	1+1	S	2/18～2/19 会津駒ヶ岳	2	S	2/25～2/26 城ヶ崎、城山	1+1	R
2/6 木曽駒ケ岳（サギダル尾根、宝剣岳）	1	R	2/18～2/19 八ヶ岳（ジョーゴ沢）	2	氷	2/25～2/26 八方スキー場	1	S
2/7～2/8 白鳥山、貫ガ岳、高ドッキョウ、篠井山	1	A	2/11～2/12 三つ峠、甲斐駒ヶ岳（尾白川下部）	1+2	氷	2/25 佐久・湯川	1+1	氷
2/9～2/9 城ヶ崎 シーサイド	2	R	2/18 札幌国際スキー場、朝里岳	1+1	S	2/25 須原スキー場	2	S
2/11～2/12 谷川岳（一ノ沢左方ルンゼ～一・二ノ沢中間稜）	1+1	R	3/18 湯河原幕岩	2	R	2/26 八ヶ岳（美濃戸口角木場/奥河原）	1+1	氷
2/11～2/12 丹沢（玄倉川本流～檜洞沢）	1	沢	2/18 斑尾	1	S	2/26 須原スキー場	2	S
2/11 前武尊	1	S	2/18 白毛門（赤倉沢）	2	S	2/28～3/2 常念岳	1	S
2/16～2/16 二子山	2	R	2/19 春香山	1+1	S	2/28～3/1 八ヶ岳（角木場、奥河原）、湯川	2+2	氷
2/11 ガーラ湯沢	2	S	2/19 河又	1+1	R			

地平線の会								
報告：植田米利子	計7名		(女7名) 平均年齢64才					
2/1幕山	1+2	R	2/14大平山	5	H	2/24景信山	3	H
2/11幕山	1+2	R	2/17渡良瀬遊水地	3+4	H	2/28日和田山	1+2	R
アルパインクラブ横浜	http://acy.jpn.org/							
報告：美馬　文香	計27名 (女7名,男20名)　平均年齢：45歳							
2/4　南伊豆　海金剛　スーパーレイン	2	R	2/5　湯河原幕岩フリー＆湯河原三山ラン	2	R	2/23　八ヶ岳　天狗岳	2	S
2/4錫杖岳3ルンゼ	1	R	2/5　木曽駒が岳	1	S	2/23-24　穂高屏風岩	1	R
2/4黒檜山	6	S	2/5　阿弥陀南陵	1	S	2/23　城ヶ崎	3	R
2/4城ヶ崎	3	R	2/11-12　蔵王	1	S	2/25　霞沢岳	3	S
2/4日和田山　岩講習	1	講	2/11　塔ノ岳	3	S	2/25-26　五竜岳	1	S
2/5　城ヶ崎	1	R	2/11-12　相沢・雲竜渓谷	1	R	2/25　金峰山	2	S
2/5　城山	3	R	2/12　城ヶ崎	2	R	2/26　湯河原幕岩	1	R
2/5　湯河原幕岩	2	R	2/18-19　西上州神津牧場・相沢流域	2	R	2/26　富士山5合目	4	S
			2/18　天王岩	4	R	2/26　城ヶ崎	3	R
藤沢山の会　機関誌：「稜線」　http://fujisawa-yamanokai.com								
報告：大野淳子　計88名（男：36、女：52 ）　平均年齢65歳								
2/4浜石岳	7	H	2/15広沢寺	4	R	2/25鋸山	2	H
2/4シダンゴ山・宮地山とロウバイ園	11	H	2/16三浦アルプス　阿部倉山、二子山、ツバキ尾根～乳頭山	5	H	2/25城ケ崎フナムシロック	4	R
2/4菰釣山	4	A	2/16日光、湯本	1	S	2/26四阿屋山	5	H
2/4上野原御前三山	4	H	2/18日光湯元	4	S	2/26渋沢丘陵頭高山、蘇我丘陵浅間山	5	H
2/5六甲山系、摩耶山	1	H	2/18三浦海岸、武山、三浦富士	5	H	2/26湯河原幕山	6	R
2/6城ケ崎漁火ロック	5	R	2/18車山スノーシュートレッキング	4	S	2/26富良野郊外をスノーシュー散策	1	A
2/6入笠山	4	S	2/19日向山(厚木市)	1	H	2/27高千穂峰	2	A
26高尾北稜　唐沢山～夕焼け小焼け	2	H	2/19後沢越～鍋割山～雨山峠コース下降	4	A	2/27都留アルプス	2	H
2/8明神ヶ岳北尾根	5	A	2/20天狗山・両崖山	6	H	2/28弘法山～念仏山～田原ふるさと公園	5	H
2/11石垣山	10	H	2/20入笠山	3	S	2/28山岳スポーツセンター	4	R
2/11矢倉岳	13	H	2/22高川山	3	H	2/3~2/4牛伏山,小浅間山、矢ケ崎山, 離山	5	H
2/12房総半島 岩峰の伊予ヶ岳～富山	10	H	2/22湯河原幕山	7	R	2/6~2/7阿弥陀岳　北稜	2	S
2/15高尾山	6	H	2/23曽我丘陵、浅間山、不動山	8	H	2/23~2/24野地温泉～鬼面山・箕輪山スノートレッキング	13	S
215湯河原幕山	7	R	2/23湯河原幕山	2	R	2/24~2/25箕冠山,根石岳	4	S
会名　みずなら山の会　ホームページ　http://www.mizunarayama.com/								
報告者　木津博子　人数　36 名（男 21名・女 15名）平均年齢　66歳								
2/5　明神が岳	3	H	2/16　曽我丘陵	6	H	2/23　奥秩父　大菩薩嶺	2	S
2/5西上州　霧積温泉	2	アイス	2/18　高松山	2	H	2/24　飯盛山	3	S
2/5　荒崎海岸	3	H	2/18　湘南鷹取	1+3	S	2/25　三つ峠四十八滝沢	2	氷
2/9～15　北海道	1+3	SKI	2/18　湯河原幕岩	3	H・R	2/26　松田山	2	H
2/11　三浦海岸	7+1	H	2/19　丹沢　塔ノ岳	3	A	2/26～28鹿児島開聞岳他	4	A
2/12　谷川岳	1	S	2/22　南郷上ノ山	5+2	H	2/26　平標山	1	SKI

相模アルパインクラブ　https://sagami-ac.sakura.ne.jp/								
報告:山行管理部　計46名(男28名 女18名) 平均年齢 54歳								
2/1 昇天の氷柱	1+2	氷	2/5 湯河原幕岩	1+2	R	2/19 西上州 神津牧場・相沢奥壁	3+6	氷
2/1 湯河原幕岩	2+1	R	2/6 伊豆 城山	3	R	2/19 伊豆 城ヶ崎	10	R
2/2 八ヶ岳 角木場	1+2	氷	2/8 湯河原幕岩	1+5	R	2/22 湯河原幕岩	1+1	R
2/4 丹沢 葛葉川	3	沢	2/11 伊豆 城ヶ崎	4	R	2/23 湖南アルプス天神川周辺の岩場	1+1	R
2/4 丹沢 搭ノ岳	1	A	2/11 伊豆 城山	1+1	R	2/23 阿弥陀北稜	1+1	S
2/4 湯河原幕岩	2	R	2/11 西上州 昇天の氷柱	2	氷	2/23 湯河原幕岩	5	R
2/5 鈴鹿 名張の岩場	1+1	R	2/12 雲竜渓谷	1+1	H	2/26 谷川 ラッセル雪洞トレ 赤沢山	14	S
2/5 西上州 立岩、狭岩峡	4+1	氷	2/12 丹沢 大山南稜	1	A	2/26 大菩薩連峰 竜子山	1+1	A
2/5 南高尾	1+9	A	2/12 箱根 白銀山	4+1	A	2/26 八ヶ岳 網笠山権現岳	1+1	S
2/5 湯河原幕岩	1+9	R	2/12 湯河原幕岩	6	R	2/26 湯河原幕岩	3	R
2/5 湯河原幕岩	1+1	R	2/12 丹沢 モミソ沢	3	沢	2/26 丹沢 大山	1	A
2/5 湯河原幕岩	2	R	2/14 伊豆 城ヶ崎	3	R	2/27 湯河原幕岩	3	R
2/5 伊豆 城ヶ崎	1+1	R	2/15 佐久 湯川	1+4	氷	2/28 八ヶ岳 北横岳、茶臼山	2	S
2/5 丹沢 唐沢峠	1	A	2/18 丹沢 大山三峰	1	A	奥武蔵 日和田山	1+2	R
2/5 大山南稜	1	A	2/18 大山南稜	1	A	2/28 伊豆 城ヶ崎	2	R
2/5 丹沢 塔ノ岳	1	A	2/18 伊豆 城ヶ崎	2	R			

速報

どうする！教育部

どうする！水質検査

など熱い議論が交わされました。詳細は後日

本日（３月１２日）　県連定期理事会（第３８期下期）が開催されました。

全国・県連スケジュール

日	曜	３月			４月			５月
1	水		1	土		1	月	
2	木		2	日	常任理事会	2	火	
3	金		3	月		3	水	
4	土		4	火		4	木	
5	日		5	水		5	金	
6	月		6	木		6	土	
7	火		7	金		7	日	常任理事会
8	水		8	土		8	月	
9	木		9	日		9	火	
10	金		10	月		10	水	
11	土		11	火	事務局部会	11	木	
12	日	県連定期理事会	12	水		12	金	救助隊運営会
13	月		13	木	救助隊運営会	13	土	
14	火	事務局長会議･事務局部会	14	金		14	日	
15	水		15	土		15	月	
16	木		16	日		16	火	事務局長会議･事務局部会
17	金		17	月		17	水	
18	土	救助隊･雪崩捜索救助搬出講習会	18	火		18	木	教育部会
19	日	救助隊･雪山登山講習会	19	水		19	金	
20	月		20	木	教育部会	20	土	
21	火		21	金		21	日	
22	水		22	土		22	月	クリーンハイク実行委員会
23	木		23	日		23	火	
24	金		24	月	自然保護委員会	24	水	
25	土		25	火		25	木	
26	日		26	水		26	金	
27	月	自然保護委員会	27	木		27	土	水質調査･前夜祭
28	火		28	金		28	日	クリーンハイク
29	水		29	土		29	月	
30	木		30	日		30	火	
31	金					31	水	